

本稿は、3月4日時点で利用可能であった  
情報をもとに記述されている。

2011年3月7日  
日本銀行水戸事務所

## 茨城県金融経済概況(2011年2月)

### 1. 概況

県内景気は、一部に持ち直しに向けた動きもみられたが、全体としては改善一服の状況が続いている。先行きについては、当面はこうした状況が続くものの、海外経済の高い成長を背景とした輸出の増加などから緩やかな回復経路に復していくと考えられる。もっとも、こうした見通しには様々な不確実性があり、このところの原油価格高騰など、景気下振れ要因の変化には注意が必要である。

最終需要をみると、輸出は輸送用機械や一般機械などで増加が続いているほか、個人消費も衣料品や一部家電製品の売り上げが増加するなど持ち直しの動きがみられる。設備投資や住宅投資も持ち直しつつあるが、公共投資は減少傾向にある。

こうした中で、生産は、電気機械等の一部で引き続き減産の動きもみられ、横這い圏内で推移している。

雇用・所得環境は、なお厳しい状況にはあるが、緩やかに持ち直している。

消費者物価(除く生鮮食品)の前年比下落幅は縮小傾向が続いている。

金融面をみると、預金残高が堅調な伸びを示す一方、貸出残高は引き続き前年割れとなっている。

## 2. 実体経済

### (1) 公共投資：減少傾向にある。

1月の公共工事請負金額(工事場所ベース)は、国の発注の増加から2か月振りに前年を上回ったが、月々の振れを伴いつつ減少傾向にある。

▽ 公共工事請負金額(工事場所ベース) (前年比、%)

	2010年 4～6月	7～9月	10～12月	2010年 10月	11月	12月	2011年 1月
茨城県	▲3.0	▲9.7	▲10.0	▲14.8	4.6	▲16.2	7.7
全国	▲3.5	▲12.6	▲14.8	▲18.1	▲6.3	▲18.1	▲9.9

### (2) 輸出：増加が続いている。

輸送用機械(自動車部品)については、欧州、アジア(中国、インドネシアなど)向けが増加しているほか、米国向けも上向いている。

一般機械(建設機械)は、アジア(中国、インドネシア、マレーシアなど)や豪州向けが好調を持続しているほか、ロシア、中近東、アフリカ向けなどが増加し、現地在庫が減少に転じた米国向けも動意が窺われている。

鉄鋼(薄板)は、東南アジア(タイ、インドネシアなど)向けが好調であるが、中国向けは横這い圏内の動きが続いている。

電子部品・デバイス(半導体関連)の一部では、アジア(中国など)向けなどで引き続き出荷調整を行っている。

### (3) 設備投資：製造業を中心に持ち直している。

2010年度の設備投資は、製造業が企業収益の回復もあって、鉄鋼、食料品、電気機械などで合理化・更新投資や能力増強投資を実施する動きがみられる。

また、一般機械で、2011年度の能力増強投資を検討する動きもある。

(4)個人消費：持ち直しの動きがみられる。

1月の大型小売店売上高(日銀調べ、11か店ベース)は、衣料品を中心に冬物クリアランスセールが好調であったことから、6か月連続で前年を上回った。その後も、春物衣料品の販売が順調であるほか、雑貨などの売り上げも上向くなど、消費者の購買意欲には幾分変化が窺われている。

▽ 大型小売店売上高 (前年比、%)

		2010年 4～6月	7～9月	10～12月	2010年 10月	11月	12月	2011年 1月
茨城県	日銀調べ	▲1.8	4.1	3.9	8.5	3.4	0.9	2.3
	経済産業省調べ	▲4.6	▲0.8	0.1	1.6	0.4	▲1.3	p▲0.1
全国	経済産業省調べ	▲3.5	▲1.6	▲0.5	0.4	0.1	▲1.7	p▲0.7

(注)「日銀調べ」は2010年7月までは10か店ベース。2010年8月から大型小売店1か店を加えたベース(11か店)に見直し。

「経済産業省調べ」は既存店ベース。pは速報値。

2月の乗用車新車登録・販売台数は、エコカー補助終了後の反動により6か月連続で前年を下回ったが、減少幅は縮小しつつある。

▽ 乗用車新車登録・販売台数 (前年比、%)

	2010年 4～6月	7～9月	10～12月	11月	12月	2011年 1月	2月
茨城県	23.7	12.2	▲29.2	▲30.6	▲28.7	▲21.3	▲14.4
うち普通・小型	33.1	15.9	▲34.8	▲35.2	▲36.0	▲25.9	▲19.9
全国	22.0	13.4	▲27.2	▲29.8	▲25.5	▲19.0	▲13.8
うち普通・小型	28.1	15.3	▲31.4	▲33.5	▲31.6	▲23.8	▲16.2

このところの家電販売状況をみると、エコポイント制度の見直しに伴う駆け込み需要の反動から薄型テレビや冷蔵庫が落ち込んでいるものの、本格的な寒気到来を受けてエアコンや暖房器具が好調であったほか、インフルエンザや花粉対策のための空気清浄機の売り上げが増加している。また、新型パソコンや高機能携帯電話も好調であるなど、全体では持ち直しつつある。

(5)住宅投資：持ち直しつつある。

1月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも増加したことから、3か月連続で前年を大幅に上回り、持ち直し傾向が続いている。

▽ 新設住宅着工戸数 (前年比、%)

	2010年 4～6月	7～9月	10～12月	2010年 10月	11月	12月	2011年 1月
茨城県	1.0	24.9	10.9	▲ 2.4	20.3	16.3	21.0
うち分譲	45.2	2.1倍	▲ 4.0	▲ 9.7	22.0	▲ 16.9	48.6
全国	▲ 1.1	13.8	6.9	6.4	6.8	7.5	2.7
うち分譲	17.8	40.8	40.2	37.1	46.3	37.6	22.3

(6)生産：横這い圏内で推移している。

一般機械(建設機械)はフル生産の状態にあるものの、電気機械(家電製造)、輸送用機械(自動車部品)などの一部では、引き続き減産の動きがみられる。

▽ 鉱工業生産指数 (季節調整済指数の前月<期>比、( )内は原指数の前年比、%)

	2010年 4～6月	7～9月	10～12月	2010年 10月	11月	12月	2011年 1月
茨城県	▲ 2.9 (16.9)	3.2 (15.5)	▲ 1.1 (7.6)	0.2 (10.7)	0.8 (10.1)	▲ 3.7 (2.4)	n.a. (n.a.)
全国	1.5 (21.0)	▲ 1.8 (13.5)	▲ 1.6 ( 4.9)	▲ 2.0 ( 4.3)	1.0 ( 5.8)	3.3 ( 4.9)	p 2.4 (p 4.7)

(注)pは速報値。

(7)雇用・所得環境：なお厳しい状況にはあるが、緩やかに持ち直している。

1月の有効求人倍率は、0.59倍と2009年1月(0.61倍)以来の水準を回復した。12月の現金給与総額(事業所規模5人以上)も、2か月振りに前年を上回るなど、厳しい状況の中でも緩やかに持ち直している。

▽ 有効求人倍率 (季節調整済、倍)

	2010年 4～6月	7～9月	10～12月	2010年 10月	11月	12月	2011年 1月
茨城県	0.46	0.50	0.54	0.52	0.54	0.55	0.59
全国	0.50	0.54	0.57	0.56	0.57	0.58	0.61

### 3. 物価

消費者物価(除く生鮮食品)の前年比は引き続き下落しているが、下落幅は縮小傾向にある。

▽ 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2010年 4～6月	7～9月	10～12月	2010年 10月	11月	12月	2011年 1月
茨城県	▲1.1	▲0.6	▲0.3	▲0.4	▲0.4	▲0.2	n.a
全国	▲1.2	▲1.0	▲0.5	▲0.6	▲0.5	▲0.4	▲0.2

### 4. 金融

#### (1) 預金・貸出

1月末の県内金融機関の預金残高は、14兆2,080億円、前年比+2.2%と堅調な伸びを示す一方、貸出残高は、7兆4,506億円、同▲0.9%と、企業の資金需要の低迷などを背景に、11か月連続で前年を下回った。

#### (2) 貸出約定平均金利

県内金融機関の1月末貸出約定平均金利(ストックベース)は、2.260%と、前月(2.272%)を若干下回った。

#### (3) 銀行券

2月中の銀行券の動きをみると、発行が462億円、還収が169億円で292億円の発行超となった(2010年2月は308億円の発行超)。

#### (4) 企業金融

企業の資金繰りは、中小企業を中心に厳しいとする先が多いが、一部の先では、改善の動きが続いている。

### 5. 企業倒産

2月の企業倒産(負債総額10百万円以上)をみると、件数、負債金額ともに前年を大幅に下回った。

以 上